

# 令和6年度第1回山縣市公共交通会議 次第

日 時：令和6年6月24日（月）午前10時00分～

場 所：山縣市役所3階 大会議室

1 委嘱状交付

2 開会

3 会長あいさつ

4 協議事項

(1) 令和5年度事業報告について

資料1

(2) 令和5年度決算について

資料2

(3) 令和6年度事業計画（案）について

資料3

(4) 令和6年度予算（案）について

資料4

(5) 令和7年度地域公共交通確保維持事業に係る  
山縣市地域公共交通計画の別紙（案）について

資料5

5 報告事項

(1) 地域公共交通確保維持改善事業の二次評価結果

資料6

(2) 美山地域デマンド型交通のバス停名称変更について

資料7

6 その他

(1) 次回の開催について

7 閉会

# 令和6年度 山県市公共交通会議 委員名簿

令和6年6月24日現在

委員区分		役職	団体	氏名	備考
1号	副市長	会長	市	副市長 クボタ ユウジ 久保田 裕司	
2号	一般旅客自動車運送事業者		岐阜乗合自動車株式会社	取締役 営業管理部長 アイミヤ カズオ 相宮 一夫	代理 係長 斎藤浩太
			高富タクシー有限会社	取締役社長 ミヤチ キョウイチ 宮地 恭一	
			公益社団法人岐阜県バス協会	専務理事 キムラ ハルフミ 木村 治史	
3号	市民又は利用者の代表者		市自治会連合会	会長 フクイ ヤスオ 福井 康雄	
		監事	市自治会連合会	副会長 (美山小地区) フジネ エノロウ 藤根 圓六	
			市自治会連合会	(伊自良北地区) ウメダ トモミ 梅田 智美	欠席
			市老人クラブ連合会女性部	委員 ドイ モモエ 土井 百恵	
			市PTA連合会	PTA会員代表 ムラセ マサヒデ 村瀬 雅英	
4号	岐阜運輸支局		中部運輸局岐阜運輸支局	首席運輸企画 専門官 シタダイラ シンイチロウ 下平 真一郎	
5号	労組等代表		岐阜乗合自動車労働組合	執行委員長 ショウムラ アキラ 正村 明	
6号	岐阜県		岐阜県都市建築部都市公園・交通局公共交通課	課長 キドウキ ケンイチ 城戸 脇 研一	代理 主任 玉木竣
7号	道路管理者		岐阜土木事務所施設管理課	課長 コダマ タダアキ 児玉 忠哲	
			市建設課	課長 タナハン カズオ 棚橋 和夫	
8号	公安委員会		山県警察署交通課	課長 ナガサカ カツミ 長坂 克己	
9号	学識経験者	副会長	岐阜大学工学部社会基盤工学科	教授 クラウチ フミカ 倉内 文孝	
10号	市長が必要と認める者	副会長	市社会福祉協議会	会長 ニワ ヒデユキ 丹羽 英之	

## 【事務局】

企画財政課長	丹羽 竜之
〃 主幹	奥村 公敏
〃 主任	村瀬 瑞恵
〃 主事	田中 雅人

## 令和5年度事業報告

本会議は、地域における需要に応じた市民の生活に必要な交通手段の確保と旅客の利便の増進を図るため、以下の点について協議及び実施に係る連絡調整を行っています。

1. 地域公共交通計画の策定及び実施に係る連絡調整
2. 地域の実情に即した輸送サービスの実現に必要な事項の協議
3. 地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱の規定に基づく生活交通確保維持改善計画の策定に関する協議

令和5年度は、各項目について以下のとおり実施しました。

### 1. 地域公共交通計画の策定及び実施に係る連絡調整

#### (1) 前計画（山県市地域公共交通網形成計画）の評価

##### ①前計画（山県市地域公共交通網形成計画）の概要

計画の区域	山県市全域
計画の期間	平成30年度～令和5年度（6年間）
基本方針	どの世代においても住みよい、 便利で快適なまちを実現する地域公共交通体系の構築
目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 多様なニーズ・需要に応じたサービスの提供</li> <li>2. まちづくりと連携した、新バスターミナルを拠点とするネットワークの構築</li> <li>3. 誰もが分かりやすく、安心して利用できる公共交通の充実</li> <li>4. 多様な主体の連携により、地域全体で公共交通を支える体制の推進</li> </ol>
実施事業	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 路線再編事業           <ol style="list-style-type: none"> <li>①新バスターミナルを拠点とする路線への再編</li> <li>②新規路線の運行               <ul style="list-style-type: none"> <li>・岐阜大学病院路線の運行</li> <li>・市街地循環路線の運行</li> <li>・美山地域の運行形態の変更</li> <li>・JR岐阜までの快速便の導入</li> </ul> </li> </ol> </li> <li>2. バスターミナル整備事業           <ol style="list-style-type: none"> <li>③駐車場、駐輪場の整備</li> <li>④待合いスペースの整備</li> <li>⑤のりば案内・路線案内表示の設置</li> <li>⑥バスロケーション機器の設置</li> <li>⑦アユカ自動入金機の設置</li> <li>⑧観光案内設備の整備</li> </ol> </li> <li>3. 利用促進事業           <ol style="list-style-type: none"> <li>⑨乗り継ぎ割引運賃の適用</li> </ol> </li> </ol>

	⑩乗り継ぎを考慮したダイヤ設定 ⑪公共交通ガイドブックによる情報提供 ⑫地域バス調整会議等の開催 ⑬企画乗車券の発行 ⑭バスヘルパーの継続・拡充 ⑮モビリティマネジメントの実施
--	---

## ②事業の実施状況

事業種別	事業内容	実施主体	実施状況
(1) 路線再編事業	①新バスターミナルを拠点とする路線への再編	市・交通事業者	◎実施済 ・令和3年6月のバスターミナルオープンに伴い路線再編を実施
	②新規路線の運行	市・交通事業者	○実施済(一部変更) ・令和3年6月のバスターミナルオープンに伴いハーバス岐大病院線、市街地巡回線、美山地域デマンド型交通が運行開始 ※神崎地区は定時定路線による運行に変更
(2) バスターミナル整備事業	③駐車場、駐輪場の整備	市	○実施済(一部変更) ・バスターミナル隣接の高架下に駐車場(54台)や駐輪場(50台)を整備
	④待合スペースの整備	市	◎実施済 ・バスターミナル内に冷暖房完備の待合室を整備
	⑤のりば案内・路線案内表示の設置	市	◎実施済 ・のりば案内板を設置
	⑥バスロケーション機器の設置	交通事業者	◎実施済 ・待合室内にバスロケーション機器を設置
	⑦アユカ自動入金機の設置	交通事業者	△検討の結果実施しないことに変更 ・全国交通系ICカードへの変更予定があるため設置見合わせ

事業種別	事業内容	実施主体	実施状況
	⑧観光案内設備の整備	市	◎実施済 ・待合室内に観光情報や販売店情報を検索できるデジタルサイネージを設置
(3) 利用促進事業	⑨乗り継ぎ割引運賃の適用	交通事業者	◎実施済 ・バス同士の乗継割引を継続して実施
	⑩乗り継ぎを考慮したダイヤ設定	交通事業者・市	◎実施済 ・路線再編時に接続ダイヤを設定
	⑪公共交通ガイドブックによる情報提供	市・公共交通会議	◎実施済 ・ダイヤ改正ごとに発行
	⑫地域バス調整会議等の開催	市民・市・交通事業者	◎実施済 ・定期的に開催(5年間で27回)
	⑬企画乗車券の発行	市・交通事業者	◎実施済 ・市自主運行バスにも利用可能な企画乗車券を発行
	⑭バスヘルパーの継続・拡充	市民・市	◎実施済 ・継続して実施
	⑮モビリティマネジメントの実施	市民・市	◎実施済み ・中学生を対象にバスの乗り方や志望校までの通学方法等の情報提供を実施

(2) 新計画（山縣市地域公共交通計画）の策定

①新計画（山縣市地域公共交通計画）の概要

計画の区域	山縣市全域
計画の期間	令和6年度～令和10年度（5年間）
基本方針	どの世代においても住みよい、 便利で快適なまちを実現する地域公共交通体系の構築
目標	1. 公共交通ネットワークの維持・構築 2. 公共交通を利用しやすい環境の整備 3. 公共交通の利用促進 4. まちづくりと公共交通の連携強化
実施事業	<p><u>目標1 公共交通ネットワークの維持・構築</u></p> <p>1 幹線バス路線の維持 2 自主運行バスの維持・見直し 3 乗り継ぎを考慮したダイヤ設定 4 新モビリティに関する情報収集 5 運転手確保に対する支援</p> <p><u>目標2 公共交通を利用しやすい環境の整備</u></p> <p>1 バス停環境の整備 2 通学定期補助制度の創設 3 定期券適用範囲の拡大 4 割引運賃の適用 5 企画乗車券の発行 6 地域バス調整会議等の開催</p> <p><u>目標3 公共交通の利用促進</u></p> <p>1 公共交通ガイドブック等によるこまめな情報提供 2 ICTを活用した情報発信 3 多様な主体と連携した公共交通のPR 4 バス乗車のきっかけとなるイベントの開催</p> <p><u>目標4 まちづくりと公共交通の連携強化</u></p> <p>1 都市の拠点間を結ぶ公共交通ネットワークの強化 2 山県バスターミナルの設備、利便性のPR 3 山県バスターミナル周辺でのイベント開催</p>

### (3) 山口市地域公共交通網形成計画に規定する事業内容に対する令和5年度実施事業

番号	事業内容	実施有無	実施内容／未実施理由
(1) ①	新バスターミナルを拠点とする路線への再編	—	・令和3年度に実施済み。
(1) ②	新規路線の運行	—	・令和3年度に実施済み。 ・令和5年度も引き続き運行した。
(2) ③	駐車場、駐輪場の整備	—	・令和3年度に実施済み。
(2) ④	待合いスペースの整備	—	・令和3年度に実施済み。
(2) ⑤	のりば案内・路線案内表示の設置	—	・令和3年度に実施済み。
(2) ⑥	バスロケーション機器の設置	—	・令和3年度に実施済み。
(2) ⑦	アユカ自動入金機の設置	—	・全国交通系 IC カードへの変更予定があるため令和3年度に設置を見合わせた。
(2) ⑧	観光案内設備の整備	—	・令和3年度に実施済み。 ・デジタルサイネージによる観光案内や観光ガイド冊子を設置した。
(3) ⑨	乗り継ぎ割引運賃の適用	○	・岐阜バスが運行するハーバス、岐北線、岐阜板取線でバス同士の乗継割引を継続して実施した。
(3) ⑩	乗り継ぎを考慮したダイヤ設定	○	・令和3年度の路線再編時に乗り継ぎを考慮したダイヤを設定し、引き続き運行した。
(3) ⑪	公共交通ガイドブックによる情報提供	○	・ダイヤ改正ごとに発行し、令和5年度は2回発行した。ガイドブックは主要な公共施設等に設置した。 ・令和6年4月1日改正版ガイドブックは、市内全戸配布した。
(3) ⑫	地域バス調整会議等の開催	○	・西深瀬老人クラブと地域バス調整会議を開催し、意見交換を行った。 ・集約した意見を市公共交通計画に反映した。
(3) ⑬	企画乗車券の発行	○	・岐阜バスと連携して、自主運行バスも乗車できる土日祝限定1日乗り放題のホリデーパスや平日昼間帯乗り放題の昼得きっぷ、岐阜バス80周年記念乗車券を販売した。

番号	事業内容	実施有無	実施内容／未実施理由
(3) ⑭	バスヘルパーの継続・拡充	○	・毎週月曜日にバスヘルパーがハーバス車内でバス乗降の手伝いや山県バスターミナルで案内活動を行った。
(3) ⑮	モビリティマネジメントの実施	○	・保育園や小学校の校外学習で自主運行バスを利用した。(11回) ・市制20周年事業として自主運行バス無料ウィークを実施した。(805名)

## 2. 地域の実情に即した輸送サービスの実現に必要な事項

### (1) 第1回会議（令和5年6月22日開催）

#### ①市町村運営有償運送（市町村福祉輸送）の更新について

外出支援サービスの更新登録を申請（令和5年10月1日～令和8年9月30日）

### (2) 第2回会議（令和6年1月16日開催）

#### ①岐阜バスマナカ導入に係る自主運行バスの運賃適用案について

岐阜バスがマナカを導入するにあたり、岐阜バスが運行する自主運行バス（岐北線、岐阜板取線、ハーバス）についても同様に利用かつ割引の適用が受けられるようにするため、運賃協議会に諮る案を事前に検討した。

#### ②自家用有償旅客運送に係る登録事項の変更について

岐北線の平日昼間帯減便後にできた新規路線（神崎山県BT線、美山地域デマンド型交通）でも岐阜バスの定期券が利用できるように変更した。

#### ③岐北線の減便について

4月1日に岐北線の塩後系統及び神崎系統の減便がされるため、減便の内容と減便後の代替手段運行に向けての流れを共有した。

### (3) 運賃協議分科会（令和6年1月書面協議）

#### ①岐阜バスマナカ導入に係る自主運行バスの運賃適用案について

第2回会議で検討した案について協議し、承認した。

## 3. 生活交通確保維持改善計画の策定

### (1) 第1回会議（令和5年6月22日開催）

#### ①令和6年度地域内フィーダー系統確保維持計画（案）について

地域公共交通の確保・維持・改善のため、計画（案）について協議し、策定した。

### (2) 第2回会議（令和6年1月16日開催）

#### ①地域公共交通確保維持改善事業 事業評価について

令和5年度に実施した地域公共交通確保維持改善事業について事業評価を行った。

## 令和5年度山県市公共交通会議 歳入歳出決算書

## 1 歳入

単位：円

科目			予算額	決算額	比較増減額	説明
款	項	目	(A)	(B)	(B-A)	
1	負担金		3,556,500	3,556,500	0	
	1	負担金	3,556,500	3,556,500	0	
		1 負担金	3,556,500	3,556,500	0	山県市負担金
2	国庫補助金		1,393,500	1,393,500	0	
	1	国庫補助金	1,393,500	1,393,500	0	
		1 国庫補助金	1,393,500	1,393,500	0	令和5年度地域公共交通確保維持改善事業費補助金（地域公共交通調査事業）
3	繰越金		148	148	0	
	1	繰越金	148	148	0	
		1 繰越金	148	148	0	
4	諸収入		0	2	2	
	1	預金利子	0	2	2	
		1 預金利子	0	2	2	
合計			4,950,148	4,950,150	2	

## 2 歳出

単位：円

科目			予算額	決算額	比較増減額	説明
款	項	目	(A)	(B)	(B-A)	
2	事業費		4,950,000	4,950,000	0	
	1	事業費	4,950,000	4,950,000	0	
		1 事業費	4,950,000	4,950,000	0	令和5年度山県市地域公共交通計画策定支援業務
3	予備費		148	0	△ 148	
	1	予備費	148	0	△ 148	
		1 予備費	148	0	△ 148	
合計			4,950,148	4,950,000	△ 148	

※ 各科目間の予算は、相互に流用できるものとする。

歳入歳出差引残額 150円は、令和6年度へ繰り越す。

(歳入決算額 4,950,150円－歳出決算額 4,950,000円＝歳入歳出差引残額 150円)

令和5年度山県市公共交通会議の会計書類を監査した結果、  
適切に処理、記載されていることを認める。

令和6年6月10日

監事 堀 邦利

## 令和6年度事業計画（案）

本会議は、地域における需要に応じた市民の生活に必要な交通手段の確保と旅客の利便の増進を図るため、以下の点について協議及び実施に係る連絡調整を行っています。

1. 地域公共交通計画の策定及び実施に係る連絡調整
2. 地域の実情に即した輸送サービスの実現に必要な事項の協議
3. 地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱の規定に基づく生活交通確保維持改善計画の策定に関する協議

令和6年度は、各項目について以下のとおり実施します。

## 1. 地域公共交通計画の策定及び実施に係る連絡調整

## (1) 山県市地域公共交通計画に規定する事業内容に対する令和6年度実施事業

番号	事業内容	実施有無	実施内容
1-1	幹線バス路線の維持	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運行事業者に対し、運行を継続していくために必要な補助を行う。</li> <li>・利用状況について評価を行い、課題に対する対応方針を検討する。</li> </ul>
1-2	自主運行バスの維持・見直し	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市街地巡回線について利用状況を評価し、利用の少ない区間や課題のある区間について、運行見直しを検討する。</li> <li>・岐北線の減便・廃止に対応した新規路線を検討する。</li> </ul>
1-3	乗り継ぎを考慮したダイヤ設定	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通結節点での乗継時間を考慮したダイヤで引き続き運行する。</li> </ul>
1-4	新モビリティに関する情報収集	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国等が開催するシンポジウム等に参加し、AI や MaaS 等の新モビリティに対する情報収集をする。</li> </ul>
1-5	運転手確保に対する支援	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通事業者と連携し、人材確保に向けた広報活動をする。</li> <li>・交通事業者と連携しながら効率的な運行を実施する。</li> <li>・運転手不足に対する施策を積極的に情報収集する。</li> </ul>
2-1	バス停環境の整備	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設置要望の多い旧伊自良支所にベンチを設置する。</li> </ul>
2-2	通学定期補助制度の創設	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>・来年度以降の実施に向け検討する。</li> </ul>

番号	事業内容	実施有無	実施内容
2-3	定期券適用範囲の拡大	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和6年4月1日より岐北線の定期券で神崎山県 BT 線及び美山地域デマンド型交通に乗車できるよう実施済。</li> <li>公共施設等でチラシを配布するとともに、中学生保護者に向けて案内をする。</li> </ul>
2-4	割引運賃の適用	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>後期高齢者、障がい者、子どもへの運賃割引（無料）と運転免許証自主返納者への運賃割引（半額）を継続する。</li> <li>交通系 IC カードが利用可能な路線で、乗り継ぎ割引を継続する。</li> </ul>
2-5	企画乗車券の発行	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>交通事業者が発行する一日乗車券等の企画乗車券を自主運行バスでも引き続き利用できるようにする。</li> </ul>
2-6	地域バス調整会議等の開催	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>路線再編を検討している西深瀬、東深瀬、いわ桜において地域バス調整会議を開催する。</li> </ul>
3-1	公共交通ガイドブック等によるこまめな情報提供	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>ダイヤ改正に合わせて公共交通ガイドブックを更新する。</li> </ul>
3-2	I C Tを活用した情報発信	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和6年3月より全路線の GTFS データを整備済。常に最新の状態となるよう年1回以上更新をする。</li> <li>岐阜バス運行路線でバスロケーションシステムを継続する。</li> </ul>
3-3	多様な主体と連携した公共交通の P R	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>保育園等に対し、イベント等での移動に自主運行バスを利用するよう案内する。</li> <li>出前講座にバスの乗り方教室を設け、新規利用者の確保を目指す。</li> </ul>
3-4	バス乗車のきっかけとなるイベントの開催	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>栗まつりでバス車両を展示する。</li> </ul>
4-1	都市の拠点間を結ぶ公共交通ネットワークの強化	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>各拠点と交通結節点を結ぶ路線を引き続き運行する。</li> <li>交通結節点での乗継時間を考慮したダイヤで引き続き運行する。</li> </ul>

番号	事業内容	実施有無	実施内容
4-2	山県バスターミナルの設備、利便性のPR	○	・市ホームページや広報紙等で山県バスターミナルについてPRする。
4-3	山県バスターミナル周辺でのイベント開催	○	・バスターミナルに関わる事業者と運用・調整会議を年4回開催し、にぎわい創出に向けて協議する。

## 2. 地域の実情に即した輸送サービスの実現に必要な事項

### (1) 岐北線代替案について

### (2) 市街地巡回線の改正案について

関係機関と個別に協議を行いながら、新規路線等について協議する。

## 3. 生活交通確保維持改善計画の策定

### (1) 第1回会議（令和6年6月24日）

①地域公共交通確保維持事業における公共交通計画の別紙（案）について  
地域公共交通の確保・維持・改善のため、計画（案）について協議する。

### (2) 第2回会議（令和7年1月予定）

#### ①地域公共交通確保維持事業 事業評価について

令和6年度に実施した地域公共交通確保維持事業について事業評価を行う。

## 4. その他

### (1) 山県市地域公共交通計画外の令和6年度実施事項

#### ①バス利用環境整備事業

市街地巡回線の車両に補助ステップを設置するのに対し、補助をする。

補助対象事業者：高富タクシー有限会社

## 令和6年度山口市公共交通会議 歳入歳出予算書(案)

## 1 歳入

単位：円

科目		本年度 予算額	前年度 予算額	比較	説明
款	項 目				
1	負担金	0	3,556,500	△ 3,556,500	
	1 負担金	0	3,556,500	△ 3,556,500	
	1 負担金	0	3,556,500	△ 3,556,500	
2	国庫補助金	0	1,393,500	△ 1,393,500	
	1 国庫補助金	0	1,393,500	△ 1,393,500	
	1 国庫補助金	0	1,393,500	△ 1,393,500	
3	繰越金	150	148	2	
	1 繰越金	150	148	2	
	1 繰越金	150	148	2	
合計		150	4,950,148	△ 4,949,998	

## 2 歳出

単位：円

科目		予算額	前年度 予算額	比較	説明
款	項 目				
2	事業費	0	4,950,000	△ 4,950,000	
	1 事業費	0	4,950,000	△ 4,950,000	
	1 事業費	0	4,950,000	△ 4,950,000	
3	予備費	150	148	2	
	1 予備費	150	148	2	
	1 予備費	150	148	2	
合計		150	4,950,148	△ 4,949,998	

※ 各科目間の予算は、相互に流用できるものとする。